

## 研修のしおり(ほっこり農園)

### 1. 研修の全体概要

#### <ほっこり農園>

・研修の目的：食農体験の普及を目的とし、畜産、農業、地域連携における考え方と、食・体験ビジネスの展開を学習する。

・ほっこり農園の概要：「どこにでもある田舎を、ここにしかない田舎に」をモットーに母体である株式会社グラノ24K の第一次産業部門として農産物の製造・流通・地域資源を活用しての体験教室などを行なっている施設である。農商工連携 88 選の代表事例として選出され、地域の6次産業化を目指し事業を展開している。

※雨天決行(雨天の際の研修を用意)

・住所：〒811-4204 福岡県遠賀郡岡垣町内浦123-3

※(株)グラノ24K 内浦事務所 会議室に集合

・日程： 1月 27 日(金) 10:00～ 開始 18:50 解散

2月 24 日(金) 10:00～ 開始 18:50 解散(2016.12.01 現在)

・受け入れ人数：1回 10名まで(要予約)

・集合場所 9:45 (株)グラノ24K 内浦事務所会議室

・解散場所 18:50 同上

・受講料・認定料：2017年3月10日まで希望者無料(交通費、宿泊費は自己負担)

※別途：8,748円(宿泊費、2日目の朝食を含む、税・サ込)要予約ですので事前にお知らせください。

### 2. 参加対象

・20歳以上

・講義や実習に支障のある大きな病気を持っていない方

### 3. アクセス方法

車：九州自動車道・古賀ICから車で30分

九州自動車道・若宮 IC から車で30分

JR九州新幹線・小倉駅から車で60分

JR九州新幹線・博多駅から車で60分

電車：JR鹿児島本線・海老津駅下車

西鉄バス6番 波津行乗車

内浦バス停下車 徒歩10分



#### 4. 研修スケジュール

	時間	内容	場所
(1/27)	10:00～ 10:50	オリエンテーション 座学:農と食 施設概要、経営コンセプトなど ・(株)グラノ24K・ほっこり農園 代表取締役 小役丸 秀一(予定)	内浦事務所
	11:00～ 11:50	座学:安心・安全	
	12:00～ 12:50	昼食・休憩	
	13:00～ 13:50	座学・演習:接客	
	14:00～ 14:50	座学・演習:地域資源 農業生産法人(株)あいあいファーム 株式会社 アメニティ 経営企画室 加力 謙一氏	
	15:00～ 15:50	座学・演習:体験プログラム作成演習	
	16:00～ 16:50	実習:施設別テーマ研修(自由)	
	17:00～ 17:50	実習:施設別体験プログラム実習	
	18:00～ 18:50	修了・課題について	
		宿泊先 満海の湯 八幡屋旅館 住所:福岡県遠賀郡岡垣町波津海岸 TEL: 093-282-0031 一泊朝食付き 8,748 円 (税・サ込) 要予約	※内浦事務所より徒歩 15分

#### ※注意事項

- ・研修の内容、特に体験プログラムは予告なく変更になる場合がございます。オリエンテーションに間に合うよう十分時間に余裕をもって来場ください。
- ・研修後に(株)グラノ24K・(有)ゆうまにて食農体験ソムリエ研修を実施する上で生じる費用、トラブル、事故、事件等について応募者が責任を持つものとし、弊社、食農体験ネットワーク及び株式会社ブランド総合研究所は一切の保証・責任を負いません。

## 5. 持参する物／服装

- ・汚れてもよい服装/軍手 等
- ・ご所属先の名刺、施設概要等

## 6. 研修詳細

### (1)オリエンテーション

ソムリエの概要や食・農体験の現状、研修を通じて理解していただきたいこと等を説明。

### (2)研修生自己紹介・課題の共有等

研修生から、所属施設や実施されている又は実施しようとされている食・農体験についての紹介、直面している課題、そしてこの研修で知りたいことや得たいことについて、簡単に5分程度でお話いただきます。

### (3)(株)グラノ24K・(有)ゆうまの取り組み紹介

(株)グラノ24K・(有)ゆうま代表取締役の小役丸秀一(予定)から、弊社の取り組みを紹介致します。

### (4)安心安全

施設の取り組みもふまえて、「農業器具」「食の衛生」「保険について」など、必要最低限の安心・安全の講義を行います。

### (5)接客

弊社には、お客様に接する時の3つの約束があります。サービス業の視点に立ちワクショップ形式で学びます。

### (6)地域資源

例として、農業生産法人(株)あいあいファーム株式会社 アメニティ経営企画室 加力謙一氏の資源の活用の仕方、観光面などを説明しながら、体験教室のプログラムの組み込み方を学びます。

### (7)体験プログラム作成演習

マニュアルを参考に、体験プログラムの作成の仕方、考え方を学び、実際に案をだします。

### (8)テーマ別演習・体験プログラム実習

各施設のテーマに合わせて体験プログラムの実習をおこないます。

### (9)課題→研修終了後・アンケート用紙の配布、プログラム作成シートの配布 →10日以内に事務局に郵送

- ①1日の研修、実地研修を通じて、気づいたこと・学んだこと・わからなかったことなどを、記入。
- ②郵送課題:研修で学んだことを活かして体験プログラムを作成し、どのように展開していくかについて、2000字程度の作文